

# Acronis True Image OEM

# 目次

<b>1 はじめに</b>	<b>5</b>
1.1 Acronis True Image OEM とは	5
1.2 システム要件	5
1.3 Acronis True Image OEM のインストール、アップデート、アンインストール	7
1.4 Acronis True Image OEMの有効化	8
1.4.1 有効化されている製品の数が多すぎます。	8
1.5 Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム	8
1.6 アプリケーションの基本設定	9
1.7 キーボードショートカット	10
1.8 サポートセンターのホームページ	11
<b>2 バックアップ</b>	<b>12</b>
2.1 基本的な概念	12
2.2 バックアップ可能な対象と不可能な対象	13
2.3 ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ	13
2.4 スケジュール設定	15
2.4.1 Mac Power Nap を使用する手順は、次のとおりです。	15
2.5 バックアップ、バックアップバージョン、レプリカをクリーンアップする	16
2.6 既存のバックアップをリストに追加する	16
2.7 接続設定	17
2.8 バックアップアクティビティと統計	17
2.8.1 [アクティビティ] タブ	17
2.8.2 [バックアップ] タブ	18
2.9 ラップトップ電源の設定	19
2.10 通知	19
2.10.1 macOS 通知センターでの通知	19
2.10.2 Acronis トレイ通知センターでの通知	19
2.11 Parallels Desktopのサポート	20
2.11.1 Parallels Desktopとは	20
2.11.2 Acronis True Image OEM では Parallels Desktop 仮想マシンがどのように処理されるのですか？	20
2.11.3 どのように動作しますか？	20
2.11.4 どの仮想マシンがバックアップされますか？	20
2.11.5 仮想マシンをリカバリするにはどうすればよいですか？	20
2.11.6 制限	21
2.12 バックアップリスト	21

2.12.1 バックアップの状態 .....	22
2.12.2 リスト内でのバックアップの並べ替え .....	22
<b>3 ブータブルメディアの作成 .....</b>	<b>24</b>
3.1 Acronis ブータブルメディア の作成 .....	24
<b>4 リカバリ .....</b>	<b>26</b>
4.1 Mac をリカバリするタイミング .....	26
4.2 Mac のリカバリ .....	26
4.2.1 Boot Camp パーティションに関する FAQ .....	28
4.3 ファイルとフォルダのリカバリ .....	28
4.4 バックアップの内容の検索 .....	29
<b>5 ディスクのクローン作成 .....</b>	<b>31</b>
5.1 ディスクのクローン作成ユーティリティ .....	31
5.2 ディスクのクローンを作成 .....	31
5.2.1 Fusion Drive のクローン作成 .....	33
5.3 2 台の Mac の接続 .....	34
<b>6 データのアーカイブ .....</b>	<b>35</b>
6.1 データのアーカイブについて .....	35
6.2 アーカイブから除外されるもの .....	35
6.3 データのアーカイブ作成 .....	36
6.4 アーカイブ済みファイルへのアクセス .....	36
<b>7 保護 .....</b>	<b>38</b>
7.1 [保護] ダッシュボード .....	38
7.2 Active Protection .....	38
7.2.1 ランサムウェア対策保護 .....	38
7.2.2 Active Protection の設定 .....	39
<b>索引 .....</b>	<b>40</b>

## 著作権情報

© Acronis International GmbH, 2003-2022.All rights reserved.

ユーザーズ ガイドに掲載されているすべての商標や著作権は、それぞれ各社に所有権があります。

著作権者の明示的許可なく本書を修正したものを配布することは禁じられています。

著作権者の事前の許可がない限り、商用目的で書籍の体裁をとる作品または派生的作品を販売させることは禁じられています。

本書は「現状のまま」使用されることを前提としており、商品性の黙示の保証および特定目的適合性または非違反性の保証など、すべての明示的もしくは黙示的条件、表示および保証を一切行いません。ただし、この免責条項が法的に無効とされる場合はこの限りではありません。

本ソフトウェアまたはサービスにサードパーティのコードが付属している場合があります。サードパーティのライセンス条項の詳細については、ルート インストール ディレクトリにある license.txt ファイルをご参照ください。ソフトウェアまたはサービスで使用されているサードパーティコードおよび関連ライセンス条件の最新の一覧については <https://kb.acronis.com/content/7696>（英語）をご参照ください。

## Acronis の特許取得済みの技術

この製品で使用されている技術は、以下の番号の 1 つ以上の米国特許によって保護されています。

7,047,380号、7,246,211号、7,275,139号、7,281,104号、7,318,135号、7,353,355号、7,366,859号、7,383,327号、7,475,282号、7,603,533号、7,636,824号、7,650,473号、7,721,138号、7,779,221号、7,831,789号、7,836,053号、7,886,120号、7,895,403号、7,934,064号、7,937,612号、7,941,510号、7,949,635号、7,953,948号、7,979,690号、8,005,797号、8,051,044号、8,069,320号、8,073,815号、8,074,035号、8,074,276号、8,145,607号、8,180,984号、8,225,133号、8,261,035号、8,296,264号、8,312,259号、8,347,137号、8,484,427号、8,645,748号、8,732,121号、8,850,060号、8,856,927号、8,996,830号、9,213,697号、9,400,886号、9,424,678号、9,436,558号、9,471,441号、9,501,234号、および出願中特許。

# 1 はじめに

## 1.1 Acronis True Image OEM とは

Acronis True Image OEM とは、オペレーティングシステム、アプリケーション、設定、すべてのデータなど、お使いの Mac の情報をすべて保護するアプリケーションです。

Mac を保護するには、2 つの簡単な操作を実行する必要があります。

### 1. Mac の完全バックアップを作成する

この操作により、オペレーティングシステムのファイルおよびすべてのデータが、バックアップというファイルに保存されます。詳しくは、「[ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ](#)」を参照してください。

### 2. Acronis ブータブルメディアを作成します。

これは、ブートファイルが格納されているリムーバブルドライブです。Mac が起動できなくなった場合は、このメディアによって、Acronis のリカバリ環境を起動し、バックアップを使用して、正常な状態に Mac をロールバックできます。詳細については、[Acronis ブータブルメディアの作成](#)を参照してください。

この 2 つの手順を実行することで、macOS の修復、および見つからなくなったドキュメントのリカバリを数分で実行できるようになります。

#### 主な機能:

- 選択したディスクまたは Mac 全体の内容のローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ
- 選択したファイルおよびフォルダのローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ
- [データアーカイブ](#)
- [Acronis ブータブルメディアの作成](#)
- [ブータブルメディア環境での macOS のリカバリ](#)
- [macOS での特定のファイルやフォルダのリカバリ](#)

## 1.2 システム要件

### サポートされるオペレーティングシステム

- macOS Monterey 12
- macOS Big Sur 11
- macOS Catalina 10.15
- macOS Mojave 10.14
- macOS High Sierra 10.13
- macOS Sierra 10.12
- OS X El Capitan 10.11

---

## 注意

Intel Core 2 Duo プロセッサを搭載した Mac マシンはサポートされません。

---

## サポートされるファイル システム

- APFS
- HFS+ (Core Storage を含む)
- FAT32
- NTFS (Boot Camp を含む)

---

## 注意

NTFS ファイル システムではディスクにデータをバックアップできません。ただし、この種類のファイル システムに存在するバックアップからデータをリカバリすることはできます。

---

## Acronis ブータブルメディア の要件

- ブータブルメディアを作成する場合、4GB（またはそれ以上）の空き容量があるリムーバブルドライブを、Mac OS 拡張ファイルシステムでフォーマットして使用できます。
- macOS 復元のバージョンは使用している Mac にインストールされた macOS のバージョンと一致していなければなりません。
- CD および DVD メディアはサポートされていません。

## サポートされるストレージ メディア

- 内蔵ドライブ (HDD、SSD)
- SoftRAID®
- USB ドライブ
- FireWire ドライブ
- Thunderbolt ドライブ
- ネットワーク共有、NAS

## サポートされるプロセッサ

- Apple シリコン
- Intel (x86)

## 一般的な要件

- Acronis True Image OEM を実行するための管理者権限が必要になります。
- (macOS Big Sur 11 および Monterey 12 を除く、Intel ベースの Mac の場合) お使いの Mac が Apple T2 チップを搭載している場合、セキュアブート設定で **[中程度のセキュリティ]** と **[外部メディアからの起動を許可]** を選択してください。詳細については、<https://support.apple.com/ja-jp/HT208330> を参照してください。
- (macOS Big Sur 11 および Monterey 12 の、Intel ベースの Mac の場合) お使いの Mac が Apple T2 チップを搭載している場合、セキュアブート設定で **[セキュリティなし]** と **[外部メディアからの**

**起動を許可**]を選択してください。詳細については、<https://support.apple.com/ja-jp/HT208330> を参照してください。

#### ダークモードのサポート

ダークモードは macOS Mojave 以降で使用できます。macOS でダークモードがオンの場合、Acronis True Image OEM はダーク表示に切り替わります。

## 1.3 Acronis True Image OEM のインストール、アップデート、アンインストール

---

### 注意

Acronis の Acronis True Image やその他のサイバープロテクションソフトウェアが既にインストールされているシステムに Acronis True Image OEM をインストールすることはできません。

---

**Acronis True Image OEM をインストールするには、次のようにします。**

1. Acronis Web サイトから Acronis True Image OEM のセットアップファイルをダウンロードします。
2. Acronis True Image OEM のセットアップファイル（ファイルの拡張子は .dmg）をダブルクリックします。
3. **[Acronis True Image]** ウィンドウで、**[Acronis True Image OEM のインストール]** をダブルクリックします。
4. インストーラーの手順に従います。プロンプトが表示されたら、管理者の資格情報を入力します。
5. ライセンス契約の条件および Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラムの内容を読み、承諾します。
6. 初めて Acronis True Image OEM を起動するときには、シリアルナンバーを入力して **[アクティブ化]** をクリックします。製品が有効化されます。

macOS High Sierra 10.13、Mojave 10.14、または Catalina 10.15 では、インストール後に Acronis International GmbH へのアクセスを許可する必要があります。これは、すべての保護機能を使用するためにカーネル拡張を読み込むのに必要です。次のことを行ってください。

1. **[システム環境設定]** を開きます。
2. **[セキュリティとプライバシー]** の **[一般]** タブに移動します。
3. **[許可]** をクリックして、表示されるプロンプトの内容を受け入れます。

Acronis True Image OEM へのフルディスクアクセスを許可する必要もあります。macOS Mojave 10.14 または Catalina 10.15 では、フルディスクアクセスがないと、バックアップ、クローン作成、および保護が正常に動作しません。macOS Big Sur 11 および Monterey 12 では、フルディスクアクセスがないと、バックアップとクローン作成が正常に動作せず、保護は無効になります。アクセスを与えるには、フルディスクアクセスを求めるウィンドウが表示されたときに、画面に表示された指示に従ってください。詳細については、<https://kb.acronis.com/content/61832> を参照してください。

**Acronis True Image OEM をアップデートするには、次のようにします。**

Acronis True Image OEM のアップデートが Acronis Web サイトから入手可能になると、通知が送られます。それ以降、ダウンロードが可能になります。その後、お使いの Acronis True Image OEM のバージョンを上書きしてインストールできます。バックアップおよび設定はすべて保持されます。

アップデートを手動で確認するには、[Acronis True Image OEM] メニューで、**[アップデートの確認]** をクリックします。

**Acronis True Image OEM を削除するには、次のようにします。**

1. Acronis True Image OEM のセットアップファイル（ファイルの拡張子は .dmg）をダブルクリックします。
2. **[Acronis True Image]** ウィンドウで、**[Acronis True Image OEM のアンインストール]** をダブルクリックし、さらにアンインストールを確認します。
3. プロンプトが表示されたら、管理者の資格情報を入力します。

## 1.4 Acronis True Image OEMの有効化

### 1.4.1 有効化されている製品の数が多すぎます。

「有効化されている製品の数が多すぎます」という問題には、以下の原因が考えられます。

- **Acronis True Image OEM がインストールされているコンピュータの数が最大数を超えている。**

たとえば、コンピュータ 1 台分のライセンスまたはシリアルナンバーを所有するユーザーが、2 台目のコンピュータに Acronis True Image OEM をインストールする場合などです。

**解決策：**

- 新しいシリアルナンバーを入力します。新しいシリアルナンバーを所有していない場合、Acronis ビルトインストアまたは Acronis Web サイトで購入できます。
- 製品がすでにアクティブ化されている別のコンピュータから、新しいコンピュータにライセンスを移動します。そのためには、ライセンスの移動元のコンピュータを選択します。選択したコンピュータで Acronis True Image OEM が無効化されることに注意してください。

- **macOS を再インストールするか、コンピュータのハードウェアを変更する。**

例えば、ご使用のコンピュータのマザーボードまたはプロセッサをアップグレードしたとします。この場合、Acronis True Image OEM ではそのコンピュータが新しいコンピュータとして認識されるので、無効になります。

**解決策：**

ご使用のコンピュータで Acronis True Image OEM を再び有効化するには、リストから、古い名前前で識別されるその同じコンピュータを選択します。

## 1.5 Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム

Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム（CEP）は、Acronis のお客様が、Acronis 製品の機能、設計、および開発に貢献できる新しい手段です。このプログラムにより、お客様は、ホスト コンピュータや仮想マシンのハードウェア構成、使用頻度が最も多い（および少ない）機能、発生する問題



の性質に関する情報など、さまざまな情報を提供できます。この情報を利用することで、Acronis 製品およびお客様が最もよく使用する機能を改善できます。

**Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラムに参加する、または参加をやめるには、次のようにします。**

1. [Acronis True Image OEM] メニューで、**[基本設定]** をクリックします。
2. プログラムへの参加をやめるには、**[Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラムに参加する]** のチェックボックスをオフにします。

このプログラムへの参加を選択した場合、技術的な情報が毎週、自動的に収集されます。氏名、住所、電話番号、キーボード入力などの個人データは収集されません。CEP への参加は任意です。ソフトウェアの改善と機能拡張を提供し、お客様のニーズをさらに満たしていくことを最終的な目的としています。

## 1.6 アプリケーションの基本設定

[基本設定] ウィンドウには、Acronis True Image OEM の一般的な設定が含まれています。これを開く手順は、次のとおりです。

1. Acronis True Image OEM を開きます。
2. [Acronis True Image OEM] メニューで、**[基本設定]** をクリックします。

**[全般]** タブでは、次の設定を使用できます。

- **Mac が Power Nap のときにバックアップする**

Mac がスリープ状態のときにバックアップを実行できます。詳細については、「[スケジュール設定](#)」を参照してください。

- **起動時にアップデートを自動確認**

詳細については、「[Acronis True Image OEM のインストール、アップデート、アンインストール](#)」を参照してください。

- **[Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラムに参加する]**

詳細については、「[Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム](#)」を参照してください。

- **通知センターに通知を表示する**

詳細については、「[通知](#)」を参照してください。

- **お客様への提案を表示**

製品および機能に関するお客様への提案を受け取るには、このチェックボックスを選択してください。

**[バッテリーセーバー]** タブでは、次の設定を使用できます。

- **バッテリー電源での作業中はバックアップを行わない**

詳細については、「[ラップトップ電源の設定](#)」を参照してください。

**[Wi-Fi ネットワーク]** タブでは、次の設定を使用できます。

- 選択した Wi-Fi ネットワークのみ使用するバックアップ

詳細については、「Acronis Cloud へのバックアップのための Wi-Fi ネットワーク」を参照してください。

## 1.7 キーボードショートカット

Acronis True Image OEM では、キーボードショートカットを使用して、より素早く簡単にユーザーインターフェースを使用できるようになっています。ショートカットを適用するには、2 つ以上のキーを同時に押します。Acronis True Image OEM のショートカットの一部は、アプリケーションメニュー内に指定されています。メニュー内では、一部のキー名が以下のアイコンで置き換えられています。

キー名	アイコン
コマンド	⌘
オプション	⌥
Shift	⇧

Acronis True Image OEM のキーボードショートカット:

ショートカット	説明
Command + U	製品の更新を確認
Shift + Command + E	プロダクトキーの入力
Command + ,	アプリケーション設定ウィンドウを開く
Shift + Command + L	マイアカウントにサインイン
Shift + Command + O	マイアカウントからサインアウト
Command + N	新規バックアップを作成
Command + 1	[バックアップ] セクションを開く
Command + 2	[保護] セクションを開く
Command + 3	[ディスクのクローン作成] セクションを開く
Command + 4	[アーカイブ] セクションを開く
Command + 5	[アカウント] セクションを開く
<b>[バックアップ] セクション</b>	
Command + S	バックアップ元のダイアログを開く
Command + D	バックアップ先のダイアログを開く
Command + Shift + S	バックアップの設定ダイアログを開く

ショートカット	説明
[ディスククローニング] セクション	
Command + S	クローン作成元のダイアログを開く
Command + D	クローン作成先のダイアログを開く
[アーカイブ] セクション	
Command + O	アーカイブに追加するファイルの選択ダイアログを開く
Command + D	アーカイブ先のダイアログを開く
Command + I	アーカイブのチュートリアルウィンドウを開く
Command + Shift + S	アーカイブの設定ダイアログを開く

## 1.8 サポートセンターのホームページ

Acronis True Image OEM 製品に関して援助が必要な場合は、ベンダのサポートチームの情報を参照してください。

## 2 バックアップ

### 2.1 基本的な概念

---

#### 注意

ご使用のエディションでは一部の機能を使用できない場合があります。

---

#### バックアップとリカバリ

**バックアップ**とは、元のデータが失われてもそのコピーから**リカバリ**できるように、データのコピーを作成しておくことです。

バックアップの主な目的は 2 つあります。

- 1 つは、オペレーティング システムが損傷した場合や起動しない場合に、**OS をリカバリする**という目的です。この処理を災害復旧といいます。災害からの Mac の保護の詳細については、「**ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ**」を参照してください。 .
- もう 1 つは、ファイルやフォルダが誤って削除されたり損傷した後に、**特定のファイルやフォルダをリカバリする**という目的です。

#### リカバリの方法:

- **完全リカバリ:** 元のロケーションまたは新しいロケーションにリカバリできます。  
元のロケーションを選択すると、バックアップのデータで完全に上書きされます。新しいロケーションの場合、データはバックアップから新しいロケーションに単にコピーされます。

#### バックアップ バージョン

バックアップバージョンは、バックアップの処理中に作成されます。各バージョンはそれぞれ特定の時点を表しており、その時点の状態にシステムやデータを復元することができます。最初のバックアップバージョンには、バックアップ対象として選択したすべてのデータが含まれます。2 回目以降のバージョンでは、以前のバックアップ バージョンから変更が加えられたデータのみが含まれるようになります。バックアップバージョンはすべて、1 つのバックアップファイルに保存されます。

#### バックアップ ファイルの形式

Acronis True Image OEM では、ローカルストレージまたはネットワークストレージに Mac をバックアップすると、バックアップデータが独自の .tib 形式または .tibx 形式に圧縮されて保存されます。.tib または .tibx ファイルのバックアップのデータは、Acronis True Image OEM を使用した場合にのみ復元できます。

#### スケジュール作成

作成したバックアップを実際に役立てるには、可能な限り最新のバックアップを作成しておく必要があります。バックアップを定期的に実行するには、**バックアップのスケジュールを作成**します。

#### バックアップ保持ルール

手動またはスケジュールでバックアップ処理が実行されるたびに、Acronis True Image OEM ではバックアップの保存先に新しいバックアップバージョンが作成されます。使用しなくなったバックアップバージョンを自動的に削除するため、バックアップ保持ルールを設定できます。詳細については、「[バックアップ、バックアップバージョン、レプリカをクリーンアップする](#)」を参照してください。

## 2.2 バックアップ可能な対象と不可能な対象

バックアップが可能な対象と不可能な対象は次の表のとおりです。

	バックアップの保存先				
	内蔵ドライブ (HDD、SSD、RAID)	USB ドライブ	Thunderbolt	AirPort Time Capsule	ネットワーク共有、 NAS
内蔵ドライブ (HDD、SSD)	+	+	+	+	+
USB ドライブ	+	+	+	+	+
FireWire ドライブ	+	+	+	+	+
Thunderbolt	+	+	+	+	+
Fusion Drive	+	+	+	+	+
FileVault 2 で保護されているハード ドライブ	+	+	+	+	+
Boot Camp がインストールされているハード ドライブ	+	+	+	+	+
特定のファイル	+	+	+	+	+
個別のパーティション	-	-	-	-	-
RAID、Apple RAID	-	-	-	-	-
CD、DVD	-	-	-	-	-
APMディスク	-	-	-	-	-

## 2.3 ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ

1. Acronis True Image OEM を開きます。
2. 次のいずれかを実行します。
  - 最初のバックアップの場合は、この手順をスキップします。
  - バックアップを既に作成していて新しいバックアップを作成する場合は、バックアップリストの下にある **[バックアップの追加]** をクリックします。

## 注意

バックアップを削除するには、そのバックアップを右クリックして **[削除]** をクリックします。リストからそのバックアップが削除され、バックアップファイルとバックアップレプリカのファイルがバックアップストレージから完全に削除されます。これらのファイルは二度と復元できなくなります。

3. バックアップ対象のアイコンをクリックして、バックアップするデータを選択します。

- **Mac全体**

このオプションを選択すると、Acronis True Image OEM は、内蔵ハードドライブすべてをディスクモードでバックアップします。バックアップ対象は、オペレーティングシステム、インストールされているプログラム、システムの設定、写真、音楽、ドキュメントなどの個人データすべてです。

- **ディスク**

- **ファイルとフォルダ**

- **NAS**（接続されている場合）



4. バックアップの保存先のアイコンをクリックし、バックアップファイルを保存する場所を選択して、**[OK]** をクリックします。保存場所が一覧に表示されない場合は、**[参照]** をクリックして場所を選択します。

NASデバイスがある場合は、自動的に検出され、その他の保存場所と一緒に表示されます。

5. (オプションの手順) 設定を追加します。次の操作を実行できます。

- バックアップスケジュールを設定するには、**[設定]** → **[スケジュール]** の順にクリックします。詳細については、「**スケジュール設定**」を参照してください。
- バックアップ保持ルールを設定するには、**[設定]** → **[クリーンアップ]** の順にクリックします。詳細については、「**バックアップ、バックアップバージョン、レプリカをクリーンアップする**」を参照してください。

6. すべての設定が完了してバックアップを開始する準備ができたなら、**[バックアップ]** をクリックします。

Acronis True Image OEM バックアップから Mac を復元するには、Acronis ブータブルメディア が必要です。まだ用意していない場合は作成してください。詳細については、[Acronis ブータブルメディア の作成](#)を参照してください。

## 2.4 スケジュール設定

作成したバックアップを実際に役立てるには、可能な限り最新のバックアップを作成しておく必要があります。バックアップを定期的に行うには、バックアップのスケジュールを作成します。デフォルトでは、Mac は毎日バックアップされます。

**バックアップのスケジュールを作成する手順は、次のとおりです。**

1. **[設定]** で、バックアップ間隔を選択し、開始時刻を指定します。
  - **スケジュールを設定しない**  
このオプションを設定すると、スケジュール設定は無効になります。
  - **日単位**  
1日に1度または2度、指定の時刻または選択した時間間隔でバックアップが開始されます。
  - **週単位**  
選択した曜日の指定時刻で毎週、バックアップが実行されます。
  - **月単位**  
選択した日付の指定時刻で毎月、バックアップが実行されます。
  - **外付けデバイスが接続されている場合**（外部保存先へのバックアップにのみ使用可能）  
USB フラッシュドライブまたは外付け HDD へのバックアップを実行するタスクをスケジュールすると、同じ外付けデバイスが接続されるたびにバックアップが開始されます。そのデバイスでバックアップを1日に1回だけ実行するには、**[1日に一度]** チェックボックスをオンにします。
2. すべての設定が完了したら、**[OK]** をクリックします。

スケジュールが設定された時刻に Mac の電源が切れている、または Mac がスリープモードになっている場合は、次に Mac を起動、またはスリープを解除したときにバックアップが実行されます。Mac Power Nap を使用すると、データ バックアップのギャップを防ぐことができます。

### 2.4.1 Mac Power Nap を使用する手順は、次のとおりです。

- Mac の **[省エネルギー]** > **[電源アダプタ]** パラメータで Power Nap をオンにします。
- **[Acronis True Image OEM]** メニューの **[基本設定]** をクリックし、**[全般]** をクリックして、**[Mac が Power Nap のときにバックアップする]** チェックボックスをオンにします。**[OK]** をクリックします。

この設定をオンにした場合、スケジュールされた時間になったときに Mac がスリープモードであれば、次の Power Nap でバックアップが実行されます。なお、Power Nap 時のバックアップは、コンピュータが電源に接続されている場合にのみ機能することに留意してください。

## 2.5 バックアップ、バックアップバージョン、レプリカをクリーンアップする

手動またはスケジュールでバックアップ処理が実行されるたびに、Acronis True Image OEM ではバックアップの保存先に新しいバックアップバージョンが作成されます。

不要になったバックアップバージョンを削除する場合は、アプリケーションに用意されているツールを使用してください。たとえば、エクスプローラーを使用して Acronis True Image OEM の外部でバックアップバージョンファイルを削除すると、バックアップに対する操作でエラーが発生します。

次のバックアップのバージョンは手動では削除できません。

- CD、DVD、BD、または Acronis Secure Zone に保存されたバックアップ

**クリーンアップ設定を構成するには、次のようにします。**

1. **[バックアップ]** セクションで、必要なバックアップをクリックし、右下隅の **[設定]** をクリックします。
2. **[クリーンアップ]** タブを選択し、クリーンアップ設定を構成します。

デフォルトでは、Acronis True Image OEM は最新の 20 個のバージョンを保存します。21 個目のバージョンを作成するときに、Acronis True Image OEM によってバックアップの最も古いバージョンが自動的に削除されます。バックアップバージョンの数に異なる制限を設定できます。

## 2.6 既存のバックアップをリストに追加する

Acronis True Image OEM バックアップを過去の製品バージョンで作成したり、他のコンピュータからコピーしたりした場合、Acronis True Image OEM を起動するたびに、コンピュータでこのようなバックアップがスキャンされ、自動的にバックアップの一覧に追加されます。

リストに表示されないバックアップについては、手動で追加することができます。

**バックアップを手動で追加するには、次のようにします。**

1. **[ファイル]** メニューで **[既存のバックアップを追加]** をポイントします。ウィンドウが開き、コンピュータ上に存在するバックアップを参照できます。  
また、Spotlight を使用して .tib または tibx ファイルから検索することもできます。
2. バックアップバージョン (.tib または .tibx ファイル) を選択します。バックアップ全体がリストに追加されます。

一覧のすべてのバックアップからデータを復元できます。また、同じ Mac で作成されたバックアップを再構成できます。

**バックアップを再構成する手順は、次のとおりです。**

1. バックアップソースのアイコンをクリックして、バックアップするデータを選択します。
2. (オプションの手順) バックアップを定期的に行うには、バックアップのスケジュールを設定し



ます。

3. バックアップを開始するには、**[バックアップ]** をクリックします。

---

#### 注意

一覧でローカルバックアップを非表示にするには、非表示にするローカルバックアップを右クリックし、**[Hide from the list]** をクリックします。非表示にしたバックアップは、再び手動で追加するまでは操作できません。

---

## 2.7 接続設定

ネットワーク上のコンピュータまたはNASデバイスに接続する場合、通常、ネットワークロケーションにアクセスするために必要なログイン情報を入力する必要があります。たとえば、バックアップの保存先を選択する際にこの操作が必要になることがあります。その場所に対する資格情報が変更された場合は、バックアップの設定で手動で資格情報を修正する必要があります。修正しなければ、以降のバックアップ操作はすべて失敗します。

**ネットワークロケーションに対する資格情報を変更するには、次のようにします。**

1. Acronis True Image OEM を開きます。
2. **[バックアップ]** セクションで、バックアップ元またはバックアップ先としてネットワークロケーションが設定されているバックアップを選択します。
3. 歯車アイコンをクリックして、バックアップの設定を表示します。
4. **[接続]** セクションで、そのネットワークロケーションにアクセスするためのユーザー名とパスワードを指定します。
5. (オプションの手順) **[接続のテスト]** をクリックします。  
接続が確立されると、資格情報が修正されます。
6. 変更を適用するには、**[OK]** をクリックします。

## 2.8 バックアップアクティビティと統計

バックアップ履歴やバックアップに含まれているファイルの種類などのバックアップに関する追加情報を、**[アクティビティ]** タブと **[バックアップ]** タブに表示することができます。**[アクティビティ]** タブには、選択したバックアップに対して実行された（作成以降の）操作リスト、操作状況、統計が含まれています。これは、バックグラウンドモードでバックアップに何が生じていたかを突き止める必要があるときに便利です。たとえば、スケジュールされたバックアップ操作の数や状況、バックアップデータのサイズなどです。

バックアップの最初のバージョンを作成するときに、**[バックアップ]** タブに、バックアップの内容がファイルの種類ごとに図表形式で表示されます。

### 2.8.1 [アクティビティ] タブ

**バックアップアクティビティを表示する手順は、次のとおりです。**

1. サイドバーで **[バックアップ]** をクリックします。
2. バックアップリストで、履歴を表示するバックアップを選択します。
3. 右側のペインで **[アクティビティ]** をクリックします。

<div> <span>✓</span> 正常にバックアップされました 今日 15:16 </div>				
バックアップ済み	速度	経過時間	復元対象のデータ	種類
18.5 MB	3 Mbps	51秒	18.45 GB	増分

#### 表示対象と分析対象:

- バックアップ操作とその状況（正常、失敗、キャンセル、中断など）
- バックアップに対して実行された操作とその状況
- エラーメッセージ
- バックアップのコメント
- バックアップ操作の詳細。これには、次のものが含まれます。
  - **[バックアップ済み]**: バックアップデータのサイズ（圧縮データ）。
  - **[速度]**: バックアップ操作の速度。
  - **[経過時間]**: バックアップ操作にかかった時間。
  - **[復元するデータ]**: データの初期サイズ（非圧縮データ）。
  - **[種類]**: バックアップ操作の種類（完全、増分）。

詳細については、ナレッジベース <http://kb.acronis.com/content/60104> を参照してください。

## 2.8.2 [バックアップ] タブ

バックアップを作成するときに、各種のバックアップファイルの統計を表示することができます。



カラーセグメントをポイントして、ファイルの数と各データカテゴリの合計サイズを表示します。

- ピクチャ
- ビデオファイル
- オーディオファイル
- ドキュメント
- システムファイル
- 隠しシステムファイルを含む、他のファイルタイプ

**[復元対象のデータ]** には、バックアップ対象として選択した元のデータのサイズが表示されます。

## 2.9 ラップトップ電源の設定

### 注意

この設定は、バッテリーを搭載したコンピュータ（ラップトップ、UPSに接続されたコンピュータ）でのみ使用できます。

ラップトップで作業するときに電源が周りにない場合や、コンピュータが停電後にUPSに切り替えられている場合は、バッテリー電源を節約することをお勧めします。バックアップを長時間実行すると、バッテリーの電源が非常に速く消耗する場合があります。

**バッテリーの充電を節約する手順は、次のとおりです。**

- [Acronis True Image OEM] メニューの [基本設定] をクリックし、[バッテリーセーバー] をクリックして、[バッテリー電力がこれを下回る場合はバックアップしない] チェックボックスをオンにします。次に [OK] をクリックします。

この設定をオンにすると、ラップトップ電源アダプタを取り外すか、停電時にコンピュータで UPS を使用した場合、バッテリーの残り電力がスライダレベル以下になったら、現在のすべてのバックアップが一時停止されて、スケジュール済みバックアップは開始しません。電源アダプタを再び取り付けるか電源が復旧すると、一時停止されていたバックアップが再開されます。この設定のために実行されていないスケジュール済みバックアップも開始されます。

この設定は、バックアップ機能を完全にはブロックしません。いつでもバックアップを手動で開始できます。

## 2.10 通知

### 2.10.1 macOS 通知センターでの通知

macOS 通知センターで Acronis True Image OEM 通知を複製すると、Acronis True Image OEM コンソールを開かなくても通常の場所でそれらの通知を表示できます。macOS 通知センターでは通知が自動的に表示されます。

製品内通知を通知センターで複製するには、[Acronis True Image OEM] メニューで、[基本設定] をクリックし、[通知センターに通知を表示する] チェックボックスをオンにします。

### 2.10.2 Acronis トレイ通知センターでの通知

Acronis True Image OEM が開いているときは、操作のステータスが表示されます。ただしバックアップなどの操作には時間がかかる可能性があるため、結果を知るために Acronis True Image OEM を開いたままにしておく必要はありません。macOS 通知センターの中の通知はユーザーによって閉じられるまで開いたままになりますが、いったん閉じた通知を開くことはできません。その情報を見るには Acronis True Image OEM を開く必要があります。

トレイ通知センターには最近の通知が一か所に表示され、Acronis True Image OEM を開かなくても、必要なときに重要な操作ステータスを確認できます。Acronis トレイ通知センターに表示される通知

は、バックアップ操作の結果情報や、Acronis True Image OEM からのその他の重要通知です。トレイ通知センターは最小化され、Mac トレイの Acronis True Image OEM の下で非表示になります。

## 2.11 Parallels Desktopのサポート

### 2.11.1 Parallels Desktopとは

Parallels Desktopとは、特別な仮想環境を使用することで、Mac上で別のオペレーティングシステムを実行できるアプリケーションです。通常は Windows を実行するために使用されますが、macOS、Linux、Google Chrome OS などのオペレーティングシステムを実行することもできます。詳細については、Parallels の Web サイト (<https://www.parallels.com/jp/products/desktop/>) を参照してください。

### 2.11.2 Acronis True Image OEM では Parallels Desktop 仮想マシンがどのように処理されるのですか？

Acronis True Image OEM では、Parallels Desktop 16 以上で作成した仮想マシンが完全サポートされています。Macをバックアップすると、仮想マシンもバックアップされます。Mac の復元時に、仮想マシンがバックアップ開始時の状態に戻ります。リカバリ後も、仮想マシンはすべて一貫性を維持し、起動可能です。

### 2.11.3 どのように動作しますか？

バックアップを実行するたびに、Acronis True Image OEM はバックアップ対象として選択されたディスクまたはフォルダに保存されているすべての Parallels Desktop 仮想マシンのスナップショットを作成します。これらのスナップショットは、Macのリカバリ時にタイムポイントとして使用されます。作成済みのスナップショットがバックアップ内に保存されると、スナップショットはMacから自動的に削除されます。

### 2.11.4 どの仮想マシンがバックアップされますか？

Acronis True Image OEM は、次のようなすべての仮想マシンをバックアップします。

- バックアップされているディスクに保存されている仮想マシン
- Parallels Desktopアプリケーションに追加されている仮想マシン
- 現在実行中、停止中、および一時停止中の仮想マシン

### 2.11.5 仮想マシンをリカバリするにはどうすればよいですか？

仮想マシンが Parallels Desktop 16 以上で作成されている場合、復元されるすべての仮想マシンはリカバリ後にブートされます。以前のバージョンの Parallels Desktop をお使いの場合は、recreate\_pd\_hdd.sh スクリプトを実行して、リカバリした仮想マシンをブータブルにする必要があります。

Acronis True Image OEM (2017 以降) では、このスクリプトは製品に付属しており、`/Applications/Acronis True Image.app/Contents/MacOS/recreate_pd_hdd.sh` にあります。以前の

バージョンをお使いの場合は、

[https://kb.acronis.com/system/files/content/2016/08/49198/recreate\\_pd\\_hdd.zip](https://kb.acronis.com/system/files/content/2016/08/49198/recreate_pd_hdd.zip) からスクリプトをダウンロードしてください。

**スクリプトを実行するには、次のようにします。**

1. スクリプトの .zip ファイルを解凍します。
2. ターミナルを開きます。
3. 次のように入力します。bash "[script\_path]" "[vm\_path]"
  - [script\_path] はスクリプト ファイルのパスです。
  - [vm\_path] はフォルダのパスです。復元される仮想マシンはこの場所に置かれます。たとえば、次のようになります。

```
bash "/Applications/Acronis True Image.app/Contents/MacOS/recreate_pd_hdd.sh"  
"/Users/John/Downloads/My Windows Virtual Machine.pvm"
```

---

### 注意

PD マシンを新しい仮想マシンとして復元する（以前のものを上書きしない）ことをお勧めします。

---

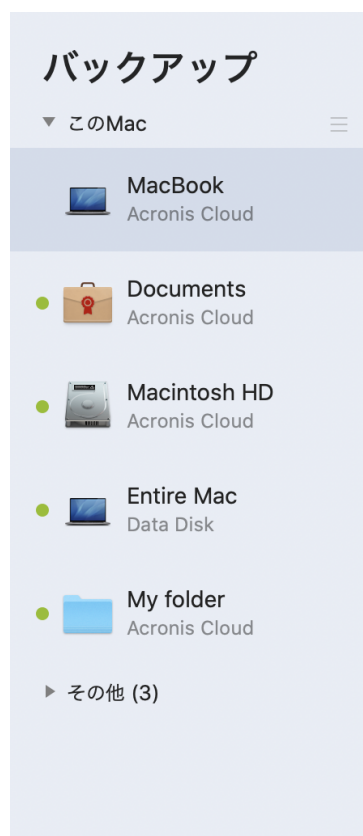
## 2.11.6 制限

Boot Campパーティションを使用するようにParallels Desktop仮想マシンを構成している場合、次の制限事項に注意してください。

- 仮想マシンが実行中の場合、Boot Campパーティションのバックアップはほとんどのケースで失敗します。
- 仮想マシンが一時停止中の場合、Boot Campパーティションのバックアップは成功しますが、バックアップからの復元はほとんどのケースで失敗します。
- 仮想マシンが一時停止中の場合、Boot Campパーティションへの復元は失敗します。かわりに、Boot Campパーティションを削除して、これをバックアップから未割り当て領域に復元します。

## 2.12 バックアップリスト

バックアップリストで作業している間は特別なアイコンが表示されます。これらのアイコンは、バックアップの種類と現在のバックアップ状態を示します。



## 2.12.1 バックアップの状態

アイコン	説明
	バックアップが正常に完了しました。
	バックアップはキューに入れられています。
	バックアップが進行中です。
	バックアップはユーザーにより一時停止されました。
	前回のバックアップに失敗しました。
	バックアップは警告を伴って完了しました。

## 2.12.2 リスト内でのバックアップの並べ替え

デフォルトでは、バックアップは作成日の新しい順に並べ替えられます。順序を変更するには、バックアップリストの上部にある並べ替えの種類から適切なものを選択します。次の選択肢があります。

コマンド		説明
並べ替え基準	名前	このコマンドは、すべてのバックアップをアルファベット順に並べ替えます。 順序を逆にするには、 <b>[Z→A]</b> を選択します。
	作成日	このコマンドは、すべてのバックアップを新しい順に並べ替えます。 順序を逆にするには、 <b>[古い順]</b> を選択します。
	アップ デート 日	このコマンドは、すべてのバックアップを最新の日付順に並べ替えます。バックアップ バージョンが新しいほど、リストの上位に配置されます。 順序を逆にするには、 <b>[参照頻度の低い順]</b> を選択します。
	サイズ	このコマンドは、すべてのバックアップをサイズの大きい順に並べ替えます。 順序を逆にするには、 <b>[小さい順]</b> を選択します。
	対象の 種類	このコマンドは、すべてのバックアップを対象の種類ごとに並べ替えます。
	保存先 の種類	このコマンドは、すべてのバックアップを保存先の種類ごとに並べ替えます。

## 3 ブータブルメディアの作成

### 3.1 Acronis ブータブルメディア の作成

Acronis ブータブルメディア は、ブート ファイルが格納されているリムーバブルドライブです。Mac が起動しない場合は、このドライブを使用して Acronis リカバリ環境を起動し、作成済みのバックアップから Mac をリカバリします。

---

#### 注意

Fusion Drive は、Acronis ブータブルメディア および Acronis Survival Kit のターゲットとしてはサポートされません。

---

まだバックアップを用意していない場合は作成してください。詳しくは、「[ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ](#)」を参照してください。

---

#### 警告

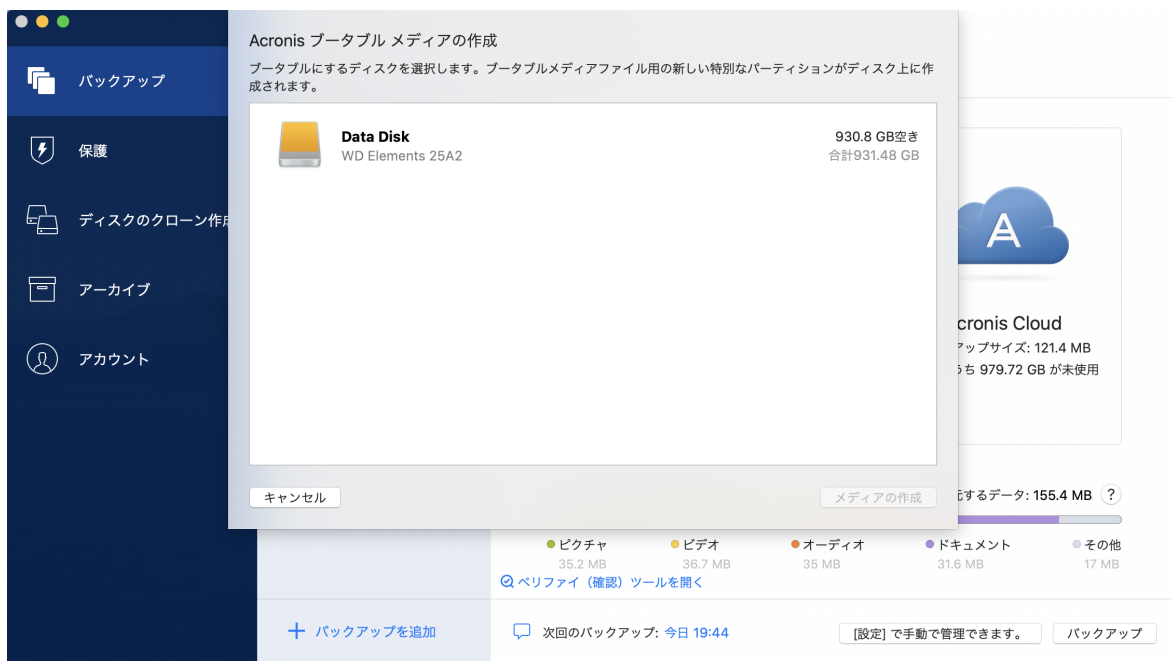
Acronis ブータブルメディア を使用することが、Acronis True Image OEM のバックアップから Mac をリカバリする唯一の方法です。

---

**Acronis ブータブルメディア を作成するには、以下の手順に従います。**

1. Mac にリムーバブルドライブを接続します。  
ドライブには少なくとも 4 GB の空き容量が必要です。具体的には、外付けハードディスク ドライブや USB フラッシュドライブを使用することができます。ドライブは Mac OS 拡張ファイルシステムを使用してフォーマットされます。CD および DVD メディアはサポートされていないのでご注意ください。
2. Acronis True Image OEM を開きます。
3. [ファイル] メニューの [**Acronis ブータブルメディアの作成**] をクリックします。表示されたウィンドウで、[メディアの作成] をクリックします。
4. Acronis メディアビルダー ウィンドウが開きます。





5. ブータブルにするドライブを選択します。

6. **[メディアの作成]** をクリックします。

Acronis True Image OEM は選択されたドライブに小さなパーティションを作成して、そこにブートファイルを書き込みます。これを作成するために、既存のボリュームのいずれかのサイズが変更されます。ディスクが GPT ではなく、Mac OS 拡張または APFS とは異なるファイルシステムである場合、Acronis True Image OEM はディスクのフォーマットを推奨します。ディスクをフォーマットすると、そのディスクに保存されているすべてのデータが消去されることに注意してください。

7. 処理が完了したら、メディアを取り外して安全な場所に保管します。メディアにデータを保存することはできませんが、Acronis ブートファイルは削除したり変更したりしないでください。

---

## 注意

macOS を新しいバージョンにアップグレードするたびに、新しいブータブルメディアを作成することをお勧めします。作成しなかった場合、ブータブルメディアが正常に機能しなくなることがあります。

---

## 4 リカバリ

### 4.1 Mac をリカバリするタイミング

コンピュータが起動しない、または macOS や一部のアプリケーションが正常に動作しない場合は大抵、ディスクイメージからオペレーティングシステムをリカバリするタイミングと言えるでしょう。最初に、問題の原因を特定することをお勧めします。

システム エラーの原因には、2 つの基本的な要因があります。

- **ハードウェア障害**

この場合は、ハードウェア メーカーのサービス センターに問い合わせることをお勧めします。

- **オペレーティング システム、アプリケーション、またはデータの損傷**

障害の原因がウイルス、マルウェア、システム ファイルの損傷である場合は、バックアップからシステムをリカバリします。詳細については、「[Macのリカバリ](#)」を参照してください。

**問題の原因を特定する手順は、次のとおりです。**

1. ケーブル、コネクタ、外付けデバイスの電源などを確認します。
2. Mac を再起動します。Mac の起動中に **Option** キーを押し続けます。リカバリ メニューが表示されます。
3. 一覧から [**ディスク ユーティリティ**] を選択し、**[続行]** をクリックします。
4. 確認するディスクを選択し、**[First Aid]** をクリックします。

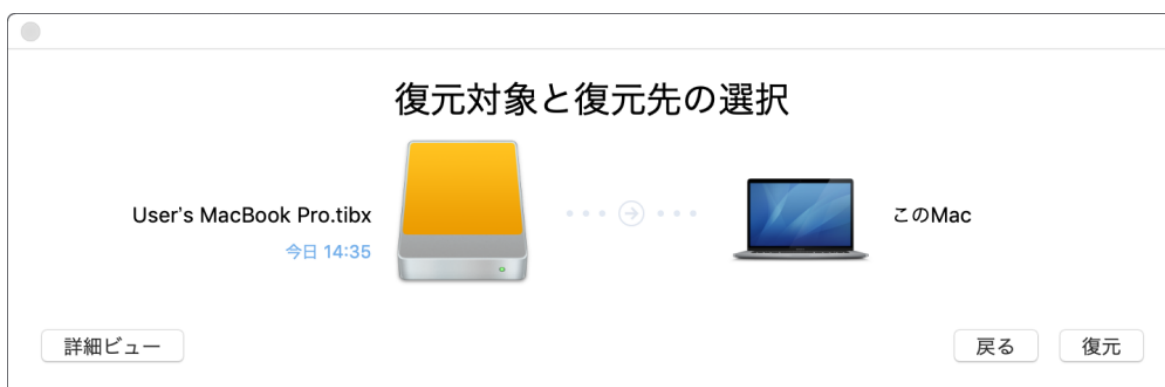
ディスク故障の可能性がディスク ユーティリティによって示された場合は、ディスクの物理的な状態に原因があります。たとえば、不良セクタが含まれている可能性があります。可能な限り早くディスクをバックアップして置き換えることをお勧めします。
5. **[ディスクを検証]** をクリックします。
  - エラーが存在する場合は、**[ディスクを修復]** をクリックします。ディスクが正常であること、または修復されたことがディスク ユーティリティによって示された場合は、Mac を再起動し、通常の使用を継続します。エラーが解消されない場合は、Acronis True Image OEM バックアップから Mac を復元します。詳細については、「[Macのリカバリ](#)」を参照してください。
  - ディスクユーティリティでエラーが検出されなかった場合は、Acronis True Image OEM バックアップから Mac を復元します。詳細については、「[Macのリカバリ](#)」を参照してください。

### 4.2 Mac のリカバリ

Mac が起動しない、または正常に動作しない場合は、次の手順を実行して Mac をリカバリします。

1. 次のものが用意されていることを確認してください。
  - 以前に作成した Acronis True Image OEM バックアップ。詳細については、「[ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ](#)」を参照してください。
  - Acronis ブータブルメディア。用意していない場合は、Mac で Acronis True Image OEM を起動し、可能な限り早くメディアを作成してください。詳細については、[Acronis ブータブルメディアの作成](#)を参照してください。

2. Mac にブータブル メディアを接続します。
3. ブートメニューを表示する手順は、次のとおりです。
  - [Intel ベースの Mac の場合] Mac を起動または再起動します。Macの起動中にOptionキーを押します。
  - [Apple シリコンを搭載した Mac の場合] Mac をシャットダウンします。電源ボタンを押します。
4. 起動元のデバイスとして Acronis ブータブルメディア を選択します。ユーティリティが表示されます。
  - [Intel ベースの Mac の場合] **[Acronis True Image OEM バックアップから復元します]** を選択した後、**[続行]** をクリックします。
  - Apple シリコンを搭載した Mac の場合、**[Acronis ブータブルメディア]** を選択した後、**[復元]** をクリックします。
5. 表示されたウィンドウで、バックアップの場所を選択します。
  - **ローカルストレージ**
  - **[ネットワーク]**バックアップを選択して、**[開く]** をクリックします。
6. 一覧から Mac のリカバリに使用するバックアップのバージョンを選択して、**[次へ]** をクリックします。選択したバージョンの内容が表示されます。
7. リカバリ対象のパーティションの横にあるチェックボックスをオンにします。各パーティションのリカバリ先を選択します。



#### 注意

Acronis True Image OEM がバックアップ内の各パーティションのターゲットを自動的に判断する場合は、簡易ビューが表示されます。このモードでは変更を加えることができません。手動でパーティションを選択する必要がある場合は、**[詳細ビュー]** ボタンをクリックします。

8. リカバリを開始するには、**[リカバリする]** をクリックし、リカバリ先のパーティションにあるデータをすべて消去することを確認します。
9. [macOS Big Sur 11 および Monterey 12 の場合] 起動できないデータボリュームでデータのみをリカバリする必要がある場合は、プロンプトで求められたら、**[データの復元]** をクリックします。  
macOS がインストールされたブータブルボリュームが必要な場合は、**[再起動して復元]** をクリックします。これにはインターネット接続が必要です。
10. [macOS Big Sur 11 および Monterey 12 以外の場合] 復元が完了したら、Mac を再起動します。

## 4.2.1 Boot Camp パーティションに関する FAQ

- **Boot Camp パーティションをバックアップするにはどうすればよいですか？**

Boot Camp がインストールされているハード ドライブをバックアップします。バックアップには、ドライブに保存されているすべてのデータ（Boot Camp パーティションを含む）が格納されます。

- **Boot Camp パーティションを個別にバックアップすることはできますか？**

Acronis True Image OEM ではディスクレベルのバックアップのみを作成することが可能なため、個別にバックアップすることはできません。代替の方法として、Boot Camp パーティションが含まれているハード ドライブをバックアップすることができます。

- **Boot Camp パーティションをリカバリするにはどうすればよいですか？**

リカバリはブータブルメディア環境で実行できます。リカバリ元およびリカバリ先を選択するときに、一覧表示されるパーティションをすべて選択します。この操作により、ハード ドライブ全体がリカバリされます。Boot Camp パーティションのみをリカバリするには、該当のパーティションの横にあるチェックボックスをオンにして、それ以外のチェックボックスをオフにします。

- **リカバリを実行する前に Boot Camp パーティションのサイズを変更することはできますか？**

Boot Camp パーティションのサイズはバックアップ時と同じであるため、サイズを変更することはできません。

- **Boot Camp パーティションのリカバリ先として選択できる場所はどこですか？**

任意のリカバリ先を選択できますが、Boot Camp パーティション自体にリカバリを実行することを強くお勧めいたします。

- **バックアップ済みの Boot Camp パーティションから特定のファイルをリカバリすることはできますか？**

その他のファイルのリカバリ方法と同様に、制限なくファイルをリカバリすることができます。

- **ハード ドライブを新しいものに取り替えたいのですが、新しいハードドライブに macOS、Boot Camp パーティション、およびすべてのデータのクローンを作成できますか？**

作成できます。クローンを作成するには、次の操作を実行します。

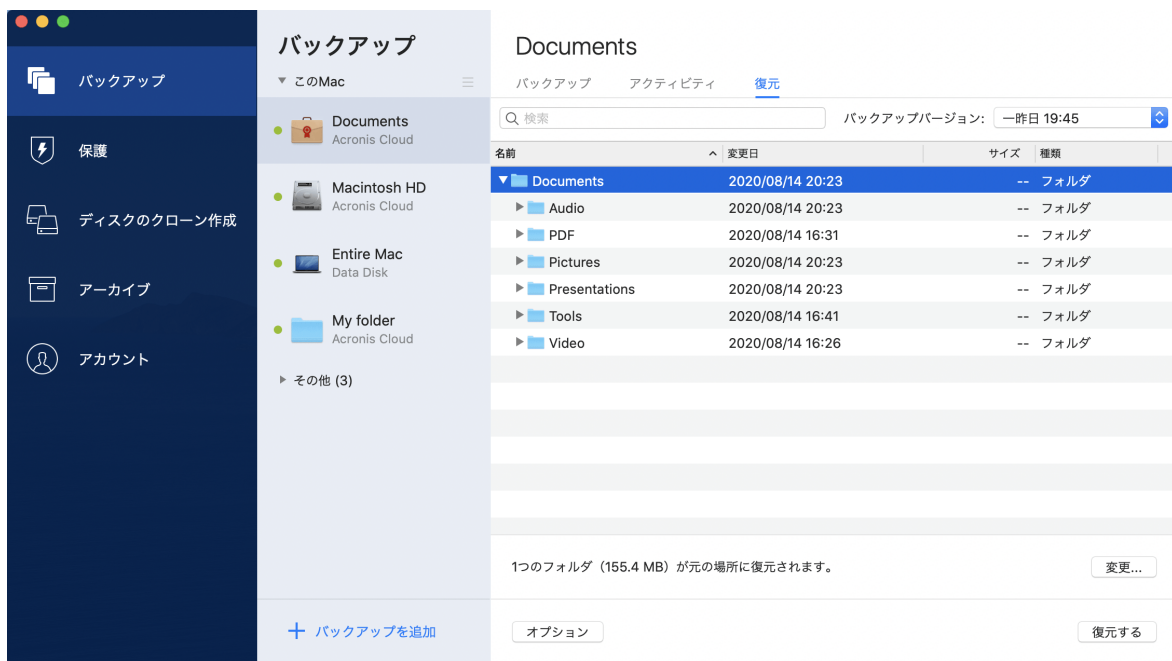
1. 外部のストレージメディア（USB ドライブやネットワーク共有など）にハードドライブをバックアップします。
2. Mac の電源をオフにし、ハード ドライブを新しいものに交換します。
3. Acronis ブータブルメディア を使用して Mac を起動します。
4. バックアップから新しいハード ドライブに Mac をリカバリします。

## 4.3 ファイルとフォルダのリカバリ

バックアップから特定のファイルやフォルダを復元する必要がある場合は、次の手順を実行します。

**Acronis True Image OEM でデータを復元する場合は、次のようにします。**

1. 左側のペインで、リカバリするファイルやフォルダが含まれているバックアップを選択し、**[復元]** タブを開きます。  
バックアップの内容がウィンドウに表示されます。



2. [バックアップ バージョン] の一覧で、バックアップ作成日をもとにバックアップ バージョンを選択します。この手順を行うことで、ファイルおよびフォルダが指定の日付に保存された状態にリカバリされます。
3. リカバリするファイルまたはフォルダを選択します。
4. (オプションの手順) デフォルトでは、選択したファイルやフォルダは元の場所にリカバリされます。リカバリ先の場所を変更するには、[変更] をクリックして、リカバリに使用する場所を参照します。
5. [リカバリする] をクリックします。処理が完了すると、選択した日時の状態にデータがリカバリされ、元の場所または指定した場所に保存されます。

選択したデータはデフォルトの [ダウンロード] フォルダにダウンロードされます。

## 4.4 バックアップの内容の検索

ローカルバックアップからデータを復元する際、選択したバックアップ内に保存された特定のファイルやフォルダを検索できます。

**ファイルやフォルダを検索する手順は、次のとおりです。**

1. ローカルストレージまたはネットワークストレージからのファイルのリカバリの説明に従ってデータの復元を開始します。
2. 復元するファイルやフォルダを選択する際、[検索] フィールドにファイル名またはフォルダ名を入力します。検索結果が表示されます。

ワイルドカード文字 (\*および?) も使用できます。たとえば、拡張子が「.exe」のファイルを検索するには、「\*.exe」と入力します。「my」で始まる5文字のファイル名が付いた「.exe」ファイルすべてを検索するには、「my???.exe」と入力します。

3. デフォルトでは、Acronis True Image OEM は前の手順で選択したフォルダを検索します。バックアップ全体を検索対象にするには、**[すべてのバックアップ]** をクリックします。  
前の手順に戻るには、クロスアイコンをクリックします。
4. 検索完了後、復元するファイルを選択したら、**[次へ]** をクリックします。

---

**注意**

**[バージョン]** 項目に注意してください。異なるバックアップバージョンに属するファイルやフォルダを同時に復元することはできません。

---

## 5 ディスクのクローン作成

### 5.1 ディスクのクローン作成ユーティリティ

---

#### 注意

ご使用のエディションでは一部の機能を使用できない場合があります。

---

通常のコピー処理では、新しいハード ディスク ドライブを古いハード ディスク ドライブとまったく同じように使用することはできません。たとえば、Finderを開いて、すべてのファイルとフォルダを新しいハードディスクドライブにコピーしても、macOSは新しいハードディスクドライブから起動しません。ディスクのクローン作成ユーティリティでは、すべてのデータを複製し、macOSを新しいハードディスクドライブでブータブルにすることができます。その結果、新しいディスクが古いディスクのクローンになります。

#### 必要になる状況:

- 新しいiMacまたはMacBookを購入すると、macOSを含め、すべてのデータを古いMacから新しいMacへ転送する必要がある場合があります。
- そこで、Macのハード ドライブのポータブル クローンを外部ドライブに作成したいと考えます。この外部ドライブがあれば、任意のMacに接続して、ブートし、そのMacを以前のMacの正確なコピーにすることができます。

#### 使用できるドライブ:

- Macの内蔵システム ドライブ(ソース ディスクとしてのみ使用可能)
- Macの内蔵非システム ドライブ
- 別のMacの内蔵ドライブ
- 外付けドライブ
- USB フラッシュ ドライブ

宛先ドライブがソース ドライブより大きかったり、小さかったりする場合、宛先ドライブのスペースに合わせてソース ドライブのパーティションのサイズが調整されます。唯一の例外は、パーティションが1 GB未満の場合です。そのようなパーティションはサイズ調整されません。

宛先ディスクとソース ディスクのサイズは同じである必要はありませんが、宛先ディスク全体のサイズはソース ディスクの使用済みスペースにその10%を加えたサイズより大きい必要があります。たとえば、Macのハードドライブが1000 GBであり、200 GBだけが使用されているとします。このクローンを作成するには、宛先ドライブのサイズは $200 + 10\% = 220$  GB以上である必要があります。宛先ドライブがこれより小さい場合は、ソースドライブから不要なデータを削除したり、データを外付けドライブまたはUSB フラッシュドライブに移動したりしてください。

### 5.2 ディスクのクローンを作成

通常のコピー処理では、新しいハード ディスク ドライブを古いハード ディスク ドライブとまったく同じように使用することはできません。たとえば、Finderを開いて、すべてのファイルとフォルダを新し



いハードディスクドライブにコピーしても、macOSは新しいハードディスクドライブから起動しません。ディスクのクローン作成ユーティリティでは、すべてのデータを複製し、macOSを新しいハードディスクドライブでブータブルにすることができます。その結果、新しいディスクが古いディスクのクローンになります。詳細については、「[ディスクのクローン作成ユーティリティ](#)」を参照してください。

---

## 重要

Apple シリコンを搭載した Mac をクローン作成するには、最初にデータを外部ディスクにクローン作成する必要があります。次に、データを外部ディスクから保存先の Mac に転送します。

---

**ディスクのクローンを作成する手順は、次のとおりです。**

1. Mac で Parallels Desktop 仮想マシンを実行している場合、仮想マシンをオフにしてください。
2. ソースドライブとターゲットドライブが Mac に接続していることを確認します。別の Mac を接続する必要がある場合は、その Mac がターゲットディスクモードで接続していることを確認してください。詳細については、「[2台の Mac の接続](#)」を参照してください。
3. Acronis True Image OEM を開きます。
4. サイドバーの [**ディスクのクローン作成**] をクリックし、[**続行**] をクリックします。
5. デフォルトでは、内蔵システムドライブがクローン作成元として事前を選択されています。これを変更するには、クローン作成元のアイコンをクリックし、クローン作成対象のドライブを選択します。
6. ターゲットドライブを接続します。

---

## 注意

APM ディスクはサポートされないことに注意してください。APM ディスクを使用している場合は、GPT または MBR に変換することをおすすめします。

---

7. クローン作成先のアイコンをクリックし、クローンデータのターゲットドライブを選択します。

---

## 警告

クローン作成操作を開始すると、ターゲットドライブがフォーマットされ、保存されているデータがすべて完全に削除されます。ディスクが空であるか、重要なデータが含まれていないことを確認します。

---

8. [**クローン作成**] をクリックします。

**Apple シリコンを搭載した Mac の場合は、追加で以下の手順を実行します。**

1. クローン作成ディスクを保存先の Mac に接続します。
2. 保存先の Mac をシャットダウンしてから、起動オプションが表示されるまで**電源**ボタンを押し続けます。
3. macOS リカバリを設定するには、[**オプション**] をクリックします。
4. [**ディスクユーティリティ**] を選択します。ツールバーの [**すべてのデバイスを表示**] をクリックします。
5. Mac の内部ディスクを選択し、ツールバーの [**消去**] をクリックします。APFS 形式を選択し、消去を確認します。消去後、Mac は再起動します。



6. Mac を有効化します。その後、終了して [リカバリーユーティリティ] を表示します。
7. macOS の再インストールを選択し、次の手順に従って macOS を内蔵ディスクにインストールします。
8. macOS を最初に起動したときに、システム設定を行います。
9. **[Migration Assistant]** ウィンドウで、**Mac、Time Machine バックアップ、または起動ディスクから**データを転送することを選択します。
10. **[情報をこの Mac に転送する]** ウィンドウで、クローン作成されたディスクを選択します。
11. **[転送する情報を選択]** ウィンドウで、表示されるすべての情報を選択し、パスワードを作成します。
12. Mac に Acronis True Image OEM をインストールします。

何らかの原因でクローン作成処理が停止した場合は、処理をもう一度設定して開始する必要があります。データは消去されません。クローンの作成中に Acronis True Image OEM によってオリジナルディスクやそこに保存されているデータが変更されることはありません。

## 5.2.1 Fusion Drive のクローン作成

**Fusion Drive** は、比較的低速なハードディスクドライブ (HDD) と高速なソリッドステートドライブ (SSD) を組み合わせたハイブリッドドライブです。Mac では、Fusion Drive は両方のドライブを合わせた領域を持つ単一の論理ボリュームとして表示されます。

Acronis True Image OEM を使用すれば、Fusion Drive を Fusion Drive または他のターゲットドライブにクローン作成することができます。

**Fusion Drive をクローン作成するには、次のようにします。**

1. Mac で Parallels Desktop 仮想マシンを実行している場合、仮想マシンをオフにしてください。
2. ソースドライブとターゲットドライブが Mac に接続されていることを確認してください。不要な外付けドライブはすべて外します。
3. Acronis True Image OEM を開きます。
4. サイドバーの **[ディスクのクローン作成]** をクリックし、**[続行]** をクリックします。
5. Fusion Drive をクローン作成ソースとして選択します。
6. ターゲットドライブを接続します。
7. クローン作成先のアイコンをクリックし、クローンデータのターゲットドライブを選択します。

複数のディスクがある場合は、**[Create a Fusion Drive (Fusion Drive を作成する)]** チェックボックスが表示されます<sup>(1)</sup>。Fusion Drive を作成する場合は、このチェックボックスをオンにしてから、2 つのディスクを選択します。選択内容を確認入力します。

---

### 警告

クローン作成操作を開始すると、ターゲットドライブがフォーマットされ、そこに保存されているデータがすべて完全に削除されます。ディスクが空であるか、重要なデータが含まれていないこと

---

---

<sup>1</sup>このオプションは、Apple シリコンを搭載した Mac には使用できません

---

を確認します。

---

8. **[クローン作成]** をクリックします。

## 5.3 2 台の Mac の接続

ハードドライブのクローンを別の Mac に作成するには、ターゲット Mac がターゲットディスクモードで接続している必要があります。

**ターゲット Mac をソース Mac に接続する手順は、次のとおりです。**

1. ソース Mac とターゲット Mac の両方を起動します。
2. FireWire ケーブルまたは Thunderbolt ケーブルを使用してこれらの Mac を接続します。
3. ターゲット Mac で **[アップルメニュー]** > **[システム環境設定]** の順にクリックし、**[起動ディスク]**、**[ターゲットディスクモード]** の順にクリックします。  
コンピュータを再起動すると、ソース Mac のデスクトップに新しいディスクアイコンが表示されます。この時点から、ターゲット Mac のハードドライブを通常の外付けドライブとして使用できます（クローン作成操作のターゲットドライブとして選択するなど）。
4. クローン作成操作が完了したら、ターゲットドライブのアイコンをゴミ箱に移動してターゲットドライブを取り出します。
5. ターゲット Mac をオフにし、ケーブルを外します。

## 6 データのアーカイブ

### 6.1 データのアーカイブについて

---

#### 注意

ご使用のエディションでは一部の機能を使用できない場合があります。

---

データのアーカイブは、サイズの大きいファイルや使用頻度の低いファイルを NAS、外付けハードドライブ、または USB フラッシュドライブに移動できるツールです。このツールを実行するたびに、選択したフォルダ内のデータが解析されて、移動対象となる推奨のファイルが示されます。アーカイブするファイルやフォルダを選択できます。アーカイブへの移動が完了すると、これらのファイルのローカルコピーは削除されます。これらのファイルへのリンクは、Acronis Drive という特定の場所に保存されます。この場所には、Finderから通常のフォルダとしてアクセスできます。ファイルのリンクをダブルクリックすると、ローカルフォルダに保存されている場合と同じようにファイルが開きます。

データのアーカイブの主な機能は次のとおりです。

- **ストレージを解放して空き容量を増やす**

通常、最新の大容量ハードドライブの空き領域は、オペレーティングシステムやアプリケーションではなく、写真やドキュメントなどのユーザーデータによって使用されます。大半のデータは必要に応じて使用するので、常にローカルドライブに保存する必要はありません。データのアーカイブによって、よく使用するファイルのために空き領域を解放できます。

- **ローカルアーカイブ**

アーカイブの保存先の種類として、内部ハードドライブ、外付けハードドライブ、NAS、USB フラッシュドライブが選択できます。新しくアーカイブを作成する代わりに既存のアーカイブを選択することができますが、ローカルアーカイブは互いに独立しており、それぞれ異なる名前、保存先、暗号化の設定などが可能です。ローカルアーカイブの数は制限されていません。

### 6.2 アーカイブから除外されるもの

アーカイブのサイズを縮小し、システムの破損のおそれをなくするため、Acronis True Image OEM では、デフォルトで、以下のデータをアーカイブの対象外としています。

- pagefile.sys
- swapfile.sys
- Network Trash Folder
- System Volume Information フォルダ
- ごみ箱
- .tib ファイルと .tibx ファイル
- .tib.metadata ファイル
- .tmp ファイル
- .~ ファイル

完全なファイルリストについては、ナレッジベースの記事 <https://kb.acronis.com/content/58297> を参照してください。

## 6.3 データのアーカイブ作成

データのアーカイブ機能により、古いファイルや使用頻度の低いファイルを移動してストレージスペースを解放することができます。詳細については、「[データのアーカイブについて](#)」を参照してください。

**データのアーカイブを作成するには、次の手順を実行します。**

1. Acronis True Image OEM を起動して、**[アーカイブ]** セクションに移動します。



2. (オプションの手順) データのアーカイブ作成機能の概要を確認する場合は、**[はじめに]** のスライドを表示します。
3. アーカイブ対象のファイルを選択するには、次のいずれかの操作を実行します。
  - (Finder などから) ファイルを **[アーカイブ]** 画面にドラッグします。
  - **[Finder を参照]** をクリックし、アーカイブ対象のファイルを選択します。
4. **[ターゲットの選択]** をクリックし、アーカイブ対象ファイルの保存先を選択します。
5. **[アーカイブを開始]** をクリックします。
6. アーカイブにファイルが移動されると、ファイルはコンピュータから自動的に削除されます。

## 6.4 アーカイブ済みファイルへのアクセス

ファイルが正常にアーカイブされると、次の方法でアーカイブにアクセスできます。

- **Finder**

Finder を起動し、**[お気に入り]** の **[Acronis Drive]** をクリックします。

ファイルは読み取り専用モードで操作できます。ファイルを変更するには、まずファイルを別のフォルダにコピーします。

## 7 保護

Active Protection は、通常の作業中に常にバックグラウンドで実行され、コンピュータをリアルタイムで保護します。

---

### 注意

この保護は、Acronis True Image OEM UI でのみ有効または無効にできます。アクティビティモニタまたは他の外部ツールを使って手動でプロセスを停止することはできません。

---

### 7.1 [保護] ダッシュボード

[保護] ダッシュボードには、統計データが表示され、保護ステータスの制御や保護設定へのアクセスが行えます。

[保護] ダッシュボードにアクセスするには、サイドバーにある **[保護]** をクリックします。

ダッシュボードの **[概要]** タブでは、次の操作が行えます。

- Active Protection の状況に関する統計情報を表示する。
- 検出された問題数と検疫された項目数を表示する。
- 事前に設定した期間（30 分、1 時間、4 時間、再起動まで）、保護全体を停止します。これを行うには、**[保護の停止]** をクリックして期間を選択します。

---

### 注意

保護を一時停止すると、Active Protection が無効になります。スケジュール設定したオンデマンドスキャンは開始されません。

---

ダッシュボードの **[アクティビティ]** タブで、保護の状況および設定に適用した変更のログを表示できます。

### 7.2 Active Protection

コンピュータを悪意のあるソフトウェアから保護するため、Acronis True Image OEM は Acronis Active Protection テクノLOGYを使用します。

Active Protection は、コンピュータの通常運用中に常にチェックを行います。通常のファイルに加えて、Acronis Active Protection は、Acronis True Image OEM アプリケーションのファイルおよびバックアップを保護します。

#### 7.2.1 ランサムウェア対策保護

ランサムウェアはファイルを暗号化し、暗号化キーの対価を要求します。

**ランサムウェア対策保護** サービスが有効な場合、コンピューターで実行されているプロセスがリアルタイムで監視されます。ファイルの暗号化を試みるサードパーティのプロセスを検出すると、ユーザーに通知され、プロセスを継続するかブロックするかを尋ねられます。

プロセスによるアクティビティの継続を許可するには、**[信頼する]** をクリックします。プロセスが安全で正当なものかどうか不明な場合は、**[検疫]** をクリックすることをお勧めします。クリックすると、プロセスは **[検疫]** に追加され、アクティビティがブロックされます。

## プロセスのブロック後のファイルのリカバリ

プロセスのブロック後に、ファイルが暗号化されていないかどうか、または破損していないかどうかを確認することをお勧めします。暗号化されているまたは破損している場合には、**[変更されたファイルを復元する]** をクリックします。Acronis True Image OEM は、リカバリする最新のファイルバージョンを次の場所から検索します。

- プロセスの検証中に前もって作成したファイルの一時コピー
- ローカルバックアップ

Acronis True Image OEM が適切な一時コピーを見つけた場合には、それからファイルを復元します。復元する適切なファイルの一時コピーがない場合、Acronis True Image OEM はバックアップコピーを検索し、両方の場所で見つけたコピーの作成日付を比較して、使用可能な暗号化されていない最新コピーからファイルを復元します。

---

### 注意

Acronis True Image OEM は、パスワード保護されたバックアップからのファイルの復元をサポートしていません。

---

## 7.2.2 Active Protection の設定

### ランサムウェア対策保護を構成する

1. Acronis True Image OEM サイドバーの **[保護]** をクリックした後に、**[設定]** をクリックします。
2. **[Active Protection]** タブに移動して、**[ランサムウェア対策保護]** を有効にします。

有効にすると、ランサムウェア対策保護により、バックグラウンドで実行される有害な可能性のあるアプリケーションやプロセスからコンピューターが保護されます。

# 索引

## [

[アクティビティ] タブ 17

[バックアップ] タブ 18

[保護] ダッシュボード 38

## 2

2 台の Mac の接続 34

## A

Acronis True Image OEM では Parallels Desktop  
仮想マシンがどのように処理されるのです  
か？ 20

Acronis True Image OEM とは 5

Acronis True Image OEM のインストール、アッ  
プデート、アンインストール 7

Acronis True Image OEMの有効化 8

Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム  
8

Acronis トレイ通知センターでの通知 19

Acronis の特許取得済みの技術 4

Acronis ブータブルメディア の作成 24

Active Protection 38

Active Protection の設定 39

## B

Boot Camp パーティションに関する FAQ 28

## F

Fusion Drive のクローン作成 33

## M

Mac Power Nap を使用する手順は、次のとおり  
です。 15

Mac のリカバリ 26

Mac をリカバリするタイミング 26

macOS 通知センターでの通知 19

## P

Parallels Desktopとは 20

Parallels Desktopのサポート 20

## あ

アーカイブから除外されるもの 35

アーカイブ済みファイルへのアクセス 36

アプリケーションの基本設定 9

## き

キーボードショートカット 10

## さ

サポートセンターのホームページ 11

## し

システム要件 5

## す

スケジュール設定 15

## て

ディスクのクローンを作成 31

ディスクのクローン作成 31



ディスクのクローン作成ユーティリティ 31

データのアーカイブ 35

データのアーカイブについて 35

データのアーカイブ作成 36

## と

どのように動作しますか？ 20

どの仮想マシンがバックアップされますか？ 20

## は

はじめに 5

バックアップ 12

バックアップ、バックアップバージョン、レプリ  
カをクリーンアップする 16

バックアップアクティビティと統計 17

バックアップの状態 22

バックアップの内容の検索 29

バックアップリスト 21

バックアップ可能な対象と不可能な対象 13

## ふ

ファイルとフォルダのリカバリ 28

ブータブルメディアの作成 24

プロセスのブロック後のファイルのリカバリ 39

## ら

ラップトップ電源の設定 19

ランサムウェア対策保護 38

## り

リカバリ 26

リスト内でのバックアップの並べ替え 22

## ろ

ローカルストレージまたはネットワークスト  
レージへのバックアップ 13

## 漢字

仮想マシンをリカバリするにはどうすればよいで  
すか？ 20

基本的な概念 12

既存のバックアップをリストに追加する 16

制限 21

接続設定 17

著作権情報 4

通知 19

保護 38

有効化されている製品の数が多すぎます。 8